

麻績村の教育方針に関する研究検討委員会「第12回子育て支援部会」議事録

日時 平成30年5月28日(月) 午後3:30～

場所 麻績村地域交流センター 2F 第3,4研修室

参加者 ・教育委員 塚原明水委員 ・教育委員 坂野かほり委員
・子育て支援担当保健師 升田久美子委員
・筑北中学校特別支援コーディネーター 峯村学委員
・麻績小学校特別支援コーディネーター 田中真由美委員
・麻績保育園保育士 滝澤玲子委員 ・教育長 飯森力委員
・子育て支援コーディネーター 塩家正和委員 ・教育委員会職員 尾和正行委員
・住民課長 森山正一委員(欠席) ・ひだまり担当職員 清水智香子委員(欠席)

傍聴者 1名

事務局 : 定刻となりました。これより麻績村の教育方針に関する研究検討委員会、第12回子育て支援部会を始めさせていただきます。会におきまして、知りえた個人情報取り扱いには十分注意していただきたいと思います。それでは、始めに部会長より挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

委員 : お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。この部会で話し合われたことは、教育長さんを通じて反映していただいて大変うれしく感じております。今回、話し合いをしていただきたい点は、個別の支援カードについてになります。麻績村においては、キッズサポートカードというものを作っておりますが、今回皆さんからご意見をうかがってキッズサポートカードを利用しやすいものに改善できたらと考えております。よろしくお願いいたします。

事務局 : それでは、早速議事に入ります。議事の進行につきましては、部会長お願いいたします。

委員 : (1) 会議録の確認について事務局お願いします。

事務局 : 前回の会議録につきましては、委員の皆さんに事前に配布させていただいております。個人が特定されるような情報が公表されないよう十分に配慮し公表していきたいと考えておりますが、公表するにあたりまして、内容に問題等ございましたら事務局までご連絡いただければと思います。

委員 : 会議録について、何かございましたら事務局までお知らせください。それでは、(2) キッズサポートカードについてに入ります。このことについて事務局説明をお願いします。

事務局 : 「キッズサポートカードについて」に入る前に、1点お知らせさせていただきます。

ます。前回、皆さんに協議していただいて「子ども子育て相談」のお知らせを配布させていただきました。前回の話し合いで「ひだまり広場」、「保育園」も入れた方が良いのではないかとということで関係専門機関の麻績村の子育て支援拠点に入れさせていただいております。現在、コーディネーターの仕事の中でひだまり広場に入るようにしております。その中で、保護者の方から色々な悩みを聞いております。こちらの対応についてもコーディネーターでしておりますが、コーディネーターの範疇を超える相談については関係機関にお繋ぎしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。それでは、「キッズサポートカードについて」に入ります。キッズサポートカードの1番から5番まで前回の資料として配らせていただきました。実際に書かれている方からご意見をいただいて、できるだけ簡潔に一目で理解できるものにしていきたいと考えておりますので、ご意見をいただきたいと思ひます。

委員：ご覧になっていただいて、ご意見をいただきたいと思ひます。それでは、キッズサポートカードIについてのご意見を願ひしたいと思ひます。

委員：保育園の立場としての意見になりますが、電話番号・携帯番号については無くても良いのではないかと意見がありました。家族構成の中に年齢の欄があった方が良いのではないかと意見が出ました。また、家族構成の中に連絡方法という欄はいらぬのではないかと意見が出ました。手帳については、基本的には把握できない項目になりますので、必ず聞いて確認する必要があるのか教えていただきたいと思ひます。最後に、一番下の表の服装とは何を記入するのかも教えていただきたいという意見がありました。以上になります。

委員：それでは、今出された意見の中で「電話番号・携帯番号が無くてもいいのではないかと」という意見がありました、ご意見いただけますか。

委員：キッズサポートカードを「保護者との連携」として使うのか「従来通りのもの」として考えていくのかで必要な内容が変わります。家族構成等の情報については学校にもありますし、他の市町村のものを見た時に全てが1枚で整っているものもありました。改正するなら「保護者と連携できるもの」にした方が良くと思ひます。

委員：学校では、キッズサポートカードIは個別の指導計画として利用していますか。

委員：そうです。

委員：個別の指導計画となれば、家庭と合意形成して記入していくことになります。

委員：基本的には、学校と保護者の願ひが反映されているものが「個別の指導計画」ですが、学校ではどのような状況になっていますか。

委員：今のキッズサポートカードの内容だとできないです。個人情報が多く載っていますので、必要な部分以外は省いていった方が良くのではないかと思ひます。

委員 : キッズサポートカードをどのように活用していくかを話し合っ、それによってキッズサポートカードの内容をどうしていくかというようにした方が良いと思います。

委員 : こちらとしては、連携していけるものを作りたいと思います。そうすれば支援にも役立ちます。そのまま医療にも持っていくことができますので良いと思います。1枚ものだと見やすいですし、先生方も書きやすいと思います。

委員 : 個別の指導計画という意味合いになりますと、私が思うにはキッズサポートカードV「課題と支援の手立て」という部分が指導計画に近いと思います。この辺の利用についてお聞かせいただけますか。

委員 : 小学校では、キッズサポートカードのIとVを主に書いてもらっています。学校と保護者との連携でどういう手立てをし、結果どうだったかという事が重要ですので、キッズサポートカードVを利用しています。キッズサポートカードIも内容的にあまり変わりませんので、支援計画と指導計画を兼ねたものでいくのでしょうか。

委員 : キッズサポートカードの中では、キッズサポートカードのVが指導計画に1番近いと思います。キッズサポートカードのIはどちらかと言えば支援計画のような意味合いを持っていると私個人としては思います。

委員 : そうですね。キッズサポートカードIは、個別の支援計画。キッズサポートカードVは、指導計画に利用できると思います。

委員 : キッズサポートカードを使って指導計画としていくのであればキッズサポートカードVを指導計画にしていくのが良いのではないかと思います、ご意見いただけますか。

委員 : 内容が少し多いように思います。願いが「年度と将来」と分かれておりますが、担任の先生からすれば少し難しいです。短期と長期の目標はありますが、それはキッズサポートカードIIの方にあります。就学相談に繋げる場合は、キッズサポートカードIIも利用します。

委員 : キッズサポートカードVの「年度と将来」については私も引っかかっています。これを指導計画にするのであれば、ここは「目標」になって目標の中に「短期と長期」があると指導計画のようになると思います。短期の手立てが支援の手立てに入り、その「手立てに対する結果・変容」が支援の結果に入れば指導計画になっていくと考えています。

委員 : キッズサポートカードIとIIとV、そして合意形成の部分があればいいと思います。

委員 : 保健師の方では、キッズサポートカードはどのような利用をしていますか。

委員 : キッズサポートカードIは、フェイスシートとして利用しておりますが、保護者と共有しているということではなく、次の保育園に繋げる時に利用していま

す。キッズサポートカードⅡ以降は利用しておりません。あそびの教室に来た子どもに対しては、個別支援計画を作っておりますが、「言葉がどのくらい出ているか、運動面はどうか」等の細かい項目で 5 項目程度、その中に支援の内容等も入れて、それを保護者の方にも見ていただき、サインをいただいて支援計画に沿って、あそびの教室の運営をし始めたところです。

委員：保育園でもフェイスシートを活用していただいているということですね。

委員：はい。キッズサポートカードⅠは利用しています。個別の指導計画を別で立てているので、キッズサポートカードⅡについては書き写すだけになってしまいます。小学校への引き継ぎは、「指導要録等もあるので必要ないのではないか」という意見もありました。

委員：キッズサポートカードⅠについては必要であるが、キッズサポートカードⅡの「目標」等をキッズサポートカードⅤに入れれば、キッズサポートカードⅤがあれば十分というご意見のようですが、キッズサポートカードの利用方法によって必要な項目が決まってくると思いますので、その辺りについてのご意見をいただきたいと思います。

委員：今までのご意見からキッズサポートカードⅠが対象の子どもの状態、キッズサポートカードⅡが個別の支援計画、そしてキッズサポートカードⅤが個別の指導計画だったと感じましたが、どうでしょうか。

委員：合意形成したものを作らなければなりません。保護者と話し合う時の元になるようなものが今後必要になりますので、そのようなものを作っていただければいいのかと思います。

委員：共通理解として「支援に役立つもの」また「未就園から保育園、学校と繋げていけるもの」を作るということでもよろしいですか。

委員：先ほどのキッズサポートカードⅠは、対象の子どもの状態について記したもの、キッズサポートカードⅡが個別の支援計画、そしてキッズサポートカードⅤが個別の指導計画という理解でもよろしいですか。

委員：キッズサポートカードⅠの「心身の状況」は、キッズサポートカードⅤの「現在の様子」に入ります。「主治医、病院名、検査情報等」はあった方が良いと思いますが、「福祉・教育・相談歴」は何を書いたらいいのか悩むところです。「生育歴」についても学校ではあまり記入しておりませんが、保育園等では必要なのかと思います。これをコンパクトなものにするならば、各項目のスペースがこれだけ必要なのかというところも検討した方がいいと思います。

委員：キッズサポートカードⅠのスペースを小さくして、キッズサポートカードⅡの「支援目標」等をキッズサポートカードⅠに持っていき、裏にキッズサポートカードⅤがあれば 1 枚で収まりますね。

委員：キッズサポートカードⅡの「支援会議の記録」も保護者と話し合う時に必要

だと思えます。どこでどのような話をしたかということは大事だと思えますし、そのまま医療に持っていくこともできると思えます。

委員：「生育歴」というのは、付け足していくイメージでしょうか。

委員：小学校では、「生育」とはあまり言わないと思えます。乳幼児期についてを「生育」と言いますので、保健師の方では記入しております。乳幼児期の状態を参考にされることはあると思えます。

委員：それでは、「生育歴」に関しましては住民課で記入いただき、小学校、中学校で新たに記入するという事は無いということですね。

委員：キッズサポートカードⅠについては内容をコンパクトにし、キッズサポートカードⅡの支援の目標等を入れて1ページにまとめ、キッズサポートカードⅤを裏面に載せて1枚ものにするのはどうかという意見がありましたが、どうでしょうか。

委員：キッズサポートカードⅠの主治医・病院名の項目を表にして、項目ごとに記入してもらった方が情報の記入漏れがなく良いと思えます。「服装」の項目は「服薬」のことだと思って記入していました。初診がいつだったかという情報もあった方が良いと思えます。その辺はどうでしょうか。

委員：ここを表にした場合、必要な項目は「主治医・病院名・診断名・服薬・検査」で、検査を「諸検査」にして、いくつか検査があると思うので何行か書けるようにした方がいいですね。「心身の状況」はどういうものを記入していますか。

委員：診断名とかが来ると思うので、心身の状況はいらないと思えます。

委員：現在の様子は、キッズサポートカードⅤに記入して、指導計画になるので、年ごとに積み重ねていくイメージになるかと思えます。

委員：先ほど、キッズサポートカードⅠに対して、電話番号や家族構成等が必要かどうかという意見がありましたが、このことについてのご意見いただけますか。

委員：学校では、別の調査で調べますので、ここにある必要はありません。

教育長：このキッズサポートカードについては、1番始めに作るのが保健師になると思いますが、連絡するための電話番号は必要になると思えます。また、家族構成も兄弟関係があるのかどうかの確認ができればいいのではないかと思います。ここで、新しい様式した時にはそれぞれの施設で作ると思いますが、今後は保健師から繋げていくことが主になると思うので、その辺をお含みいただければいいと思えます。

委員：家族構成の兄弟関係は大事だと思えます。対象の子が将来頼る時に兄弟にお願いする部分もあると思うので、ここで分かっているならば「兄弟がいるので、どういう手立てを講じていくのか」という話し合いもできるので、「兄・姉」等はあった方がいいと思えます。将来的に繋げていくためにも、「続柄」の項目があればいいと思えます。

委員 : 手帳はどうしますか。

委員 : 他市町村のものを確認させていただきましたが、「手帳」は載っていました。

委員 : 「心身の状況」についてはどうしますか。

委員 : 保育園、学校と上がるにつれて書き換えられていく項目だと思いますので、ここに無くてもいいとは思いますが。

委員 : 「福祉・教育・相談歴」は書かれていますか。主治医等の項目を詳しくすれば相談歴等は必要ないと思います。主治医等の項目に相談歴を入れて表にするのはどうでしょうか。

委員 : それでは、「福祉・教育・相談歴」と「心身の状況」のスペースを減らして、下にキッズサポートカードⅡの「支援目標」等を入れていければと思いますが、「本人の願い」等はどうしますか。

委員 : 保護者と話し合う中では「本人の願い・保護者の願い」を記入することはあると思います。それをうかがった上で支援の目標や内容になると思いますが、どうでしょうか。

委員 : キッズサポートカードⅠに、「本人の願い・保護者の願い・支援の目標等」を持ってくるということよろしいですか。

委員 : 「支援の目標」はキッズサポートカードⅤの方がいいと思います。

委員 : それでは、今回のご意見を参考に形を作って、またご意見をいただきたいと思いますが、その他にご意見ございますか。

教育長 : 今回作成するカードは、両面刷りのものになるのですか。

委員 : 学校、保育園で使いやすい形で考えたいと思いますが、いかがですか。

委員 : 裏表にするのか、番号が必要なのかというところもありますが、どうですか。

委員 : キッズサポートカードⅠとキッズサポートカードⅡを一緒にして「支援計画」のような形にするということですね。

委員 : 2枚ものにするのか、裏表で1枚のものにするのか、このことについてご意見いただけますか。

委員 : 情報が多くなれば、一枚に収まらないということは出てくると思います。

委員 : キッズサポートカードⅤの部分が増えていくからということですね。

教育長 : 全てのキッズサポートカードに氏名を記入する部分があるので、それだけでも記入が大変だと思います。

委員 : キッズサポートカードⅠとキッズサポートカードⅡが一緒になって、A3で見やすくして「支援計画」。その後ろにキッズサポートカードⅤが指導計画として毎年入ってくる感じなら、その子に対する生まれてからの履歴がA3であり、その後ろに毎年の指導が付いてくるという形なら分かりやすいと思いましたが、いかがですか。

委員 : 先生方に書いてもらうことを考えますと、もう少しコンパクトになるとあり

がたいです。コンパクトになった方が有効に使いやすいと思います。

委員：それでは、今までのご意見を反映させた素案を作っていきたいと思いますが、キッズサポートカードVの項目についてのご意見いただけますか。

委員：乳幼児期では、キッズサポートカードVについて活用できていないので特に意見はありませんが、乳幼児期についてもこの部分について必要ですか。

委員：「項」をどう捉えるかにもよります。私が以前携わっていた時は、項に「生活・学習（国語、算数、技能教科）・運動」というものを挙げていました。乳幼児期については学習は入ってこないと思います。

委員：それなら、乳幼児期は「運動発達・言語・認知・行動の特徴」等に入れることはできると思います。願いは無いですが、支援の手立てについては入れていけると思います。

委員：「項」を変えることで、その時期にあった手立てを書いていくことになると思います。それを積み重ねて、振り返った時に小さい頃の様子分かるものになると良いと思います。どうでしょうか。

委員：成長の記録のようなものになるということですね。

委員：乳幼児期・保育園・小学校・中学校で「どんな項が必要なのか統一したもの」があればありがたいです。

委員：小学校の方では「学習・生活・対人」といった項で記入しています。

委員：対人なら、乳幼児期では「コミュニケーション」という形で入ってくると思います。

委員：次に、「現在の様子」ですが、現在とするよりも「様子」の方がいいと思いますが、どうですか。

委員：様子や状況で分かると思います。

委員：得意面や苦手面等について記入しています。

委員：「願い」については「目標」でいいのではないかという意見がありましたが、支援の目標はキッズサポートカードIIでも使っていますが、キッズサポートカードVでも必要ですか。

委員：キッズサポートカードVは毎年変わっていくので必要だとは思いますが。

委員：記入するなら実際はキッズサポートカードVになると思います。

委員：キッズサポートカードIとキッズサポートカードIIは個別の支援計画なので、キッズサポートカードIの一番下にある「どんな医療機関に掛かったのか一目で分かるもの」が支援計画だと思います。それに対して、キッズサポートカードVのような毎年の指導計画があると思います。

委員：また、素案をお願いしたいと思いますが、どのように記入するのかということも提示してもらえればと思います。項の内容や順番について、記入していただく先生方からご意見いただきたいと思います。お願いします。

- 委員 : エントリーシートに具体的な項目があるので、その辺を利用していけばいいと思いますが、どうですか。
- 教育長 : それぞれの子どもで項目が変わってくると思うので、特に決める必要はないと思います。エントリーシートから拾えるものを拾えばいいと感じましたが、どうですか。
- 委員 : それでは、大きな項目として「生活習慣・行動・運動・学習」とし、後はその子に応じて必要な項目を入れていくというのでどうでしょうか。先生方は、どの程度の頻度でこれを作成していますか。
- 委員 : 特別支援学級は学期ごとに保護者の方と話し合いながら作成しますが、担任先生は年間で作成しています。
- 委員 : 長期は長期の目標があるので、短期の目標に対する手立てがあって、その年間の短期の結果が記入されるイメージですか。
- 委員 : 短期と長期それぞれに支援と結果があるものもありましたが、それはやりきれないと思いますので、それでいいと思います。長期は年間、短期は学期になるとは思いますが、あまり支援も変わらないと思います。支援の手立てをいつ記入したのかを記して、支援の手立て自体が変わっていくのもいいのかと思います。
- 委員 : 保育園では、期ごとに全員の目標・様子・達成等が別の用紙でありまして、そこに記入するようになっています。
- 委員 : 長期の年間目標があって、それを達成するために短期で何ができるのかということが記入されていくと思うので、短期の手立てと結果があり、それによって長期がどうだったかの振り返りはできると思います。
- 委員 : それでは、今の意見のとおり短期を中心とした目標・支援の手立て・結果、変容を記入していくということによろしいでしょうか。
- 全 員 : (了承)
- 委員 : このキッズサポートカードVについて、欄の数はどうしますか。全ての欄を記入するということは実際ありませんので、減らしてもいいと思います。
- 委員 : 記入欄は、子どもによって内容が変わってくると思いますので、このままの数で考えています。
- 教育長 : 今回のキッズサポートカードは、全ての子どもに対して作成するのですか。
- 委員 : 本人と保護者からの申請に対して合理的配慮を提供して支援計画に明記するということが義務化であるので、申請があれば作成しなければなりません。
- 教育長 : 内容的に支援が必要な子を対象にしたものが多いように感じたので、先生方の負担や働き方改革の観点から質問させていただきました。
- 委員 : その他に、キッズサポートカードに対してご意見等ございますか。
- 委員 : 作成者と記入者名は何か違いがあるのですか。それと保護者と確認する部分

や会議でどれを使う等の違いが分からないので、その辺をお聞きできますか。

委員：初回作成者は保健師になると思います。記入者は、学校の先生や担当、保健師と変わると思います。様式も話し合っただけで変えていきますので、分かりやすく簡単なものになると思います。

委員：キッズサポートカードⅤについては、毎年記入して残していくということですか。

委員：そうです。誰が記入したのかという情報は必要だと思いますので、キッズサポートカードⅤについては記入者名の欄は必要だと思います。

委員：就学相談の資料にもなると思いますが、支援会議の記録の部分や保護者の確認の記入欄はどうなりますか。

委員：基本的には、本来保護者が作成して、保護者が持っているものなのですが、この村では統一ができていない状況です。

委員：保護者に見てもらった方が実際は支援に生きてくると思います。これからは、生きるための手立てとして保護者と話し合いながらということが求められていくということなので、見ていただく内容のものを作成するというでいいと思います。

委員：キッズサポートカードを作るという子どもは、「生きるため」ということで家庭での取り組みが非常に大事になってくると思います。

委員：キッズサポートカードⅠとⅤの両方とも保護者に見ていただいて納得してもらって進めていくということです。その他にご意見等ございますか。

委員：素案を作る上で、その他のキッズサポートカードⅢ、Ⅳ、Ⅵはどうかご意見いただきたいと思います。支援会議の記録についても、私個人の意見としては必要だと感じておりますが、どのような形で残していくのか、支援会議のメモ等を綴じて保管していくのか、必要かどうかということも含めて検討していただければと思います。

委員：それでは、キッズサポートカードⅢについてご意見ください。

委員：学校では、学校内で支援会議が別に開かれていると思いますが、それについての会議記録ということだと思います。

委員：学校でやっている支援会議については、記録は取っています。それについて、外部の先生や病院でお伝えする時に必要になりますが、ここだけに全てを書くことはできませんので、落としている部分はあります。月に2～3人の話をしますので、追いつかなくなる部分もあります。

委員：今までは、主治医の方に見せる時に使っていたということですか。

委員：今までは、どこにも使っていませんでした。本来は、「合意形成しました」ということで就学相談に上げる時に使うものだったと思います。

委員：支援会議記録については、個人ファイル様なもので保管してあるということ

ですか。

委員 : 「こういうことについて話し合います」ということを書いた文書を渡してやっています。その内容を学校内で共通理解してやっていきたいと思いますという形でやっています。

委員 : それなら、キッズサポートカードVに付け足すということでもいいと思いますが、どうですか。

委員 : 個人ファイルがあるのであれば、毎回の会議の記録は綴じられていると思うので、それでいいと思います。これは、それを一覧にしたものということですが、一覧する必要があるかどうかということですが、いかがでしょうか。

委員 : 担任の先生方には記入をお願いしておりますが、実際はそこまでなかなか手が回らない部分もあります。欄自体はあった方がいいと思います。

委員 : キッズサポートカードVの下の方に「年間通しての支援会議記録」があるといいのかなと思いますが、どうですか。

委員 : 入級・通級の判断の時に「こういう話し合いをしてきました」ということを伝えられるので、いいと思います。

委員 : キッズサポートカードⅢの上の部分についてはいりませんね。

委員 : はい。

委員 : それでは、キッズサポートカードⅣについてですが、どうですか。

委員 : 全く使っていないので、必要ないと思います。

委員 : キッズサポートカードⅥについて、このような記録はどのように残していますか。

委員 : 各担任が承知しているので、キッズサポートカードⅥを使ったことはありません。進路に関しては、進路指導主事の方で記録しております。

委員 : 特別支援の子が高校に行く時の資料として、こういったものはありますか。

委員 : キッズサポートカードⅥではありませんが、別の様式であります。高校によって変わります。

委員 : キッズサポートカードⅥについては、必要ですか。

委員 : 個人的には無くてもいいのではないかと思います。

教育長 : これは、どうしても作る必要があるものなのですか。

委員 : 「移行支援」ということなので、基本的には中学校から高校への部分についてだと思いますが、村独自で形式があるのであれば、こだわる必要は無いと思いますので、こちらで何か情報を提供して欲しいとなった時に提供していただける資料があればこだわる必要はないと思います。

委員 : それでは、キッズサポートカードⅥについては、特に必要はないということできたいと思います。その他にご意見ございますか。よろしいですか。

事務局 : それでは、こちらでひな形と記入例を次回までに用意したいと思います。

委員 : それでは、次回の検討事項としては、素案を元に検討していただきたいと思
います。

事務局 : 前回の資料の中にエントリーシートについても配布させていただいておりま
すので、そちらについても目を通していただいて、実態把握の内容については
小学校、中学校では対応できないような内容だと感じておりますので、今の子
どもたちの状況にあったエントリーシートを作ればと考えておりますので、
よろしくお願いいたします。

委員 : それでは、次回の日程に移ります。

事務局 : 次回の日程につきましては、7月5日(木)15時30分からを第1希望とさせ
ていただきたいと思います。欠席されている委員の方もいらっしゃいますので、
第2希望を7月6日(金)15時30分からということで確認させていただいて、
問題なければ7月5日(木)の15時30分から地域交流センター第3.4研修室
で行いますので、よろしくお願いいたします。変更がある場合は、連絡させていただきます
ので、よろしくお願いいたします。

委員 : それでは、閉会をお願いします。

事務局 : 長時間にわたりありがとうございました。できるだけ子どもの成長を反映さ
せられて先生方の負担を減らせるものになりたいと考えておりますので、ご意見
いただければと思います。本日は、ありがとうございました。